

REPORT

活動報告

2017

# 大和商工会 メディカルタウン 研究委員会

商工会情報コーナー

## 基幹病院・北里学院・国際大学に 商工会員用情報発信ツールを整備

魚沼基幹病院スタッフの買い物等に関する需要動向調査結果を受けて

[ 研究委員会運営 ]

委員メンバー構成を大幅に強化

[ ワークショップ ]

需要動向調査結果を踏まえた課題を洗い出し



基幹病院

北里学院

国際大学

# 個店や地域の情報発信にぜひご活用ください

## 商工会員用情報発信ツールを構築

商工やまと等で既に報告されたとおり、大和商工会は、平成28年度に魚沼基幹病院スタッフ、商工会管内の全世帯（大和地域住民）それぞれを対象に、買い物等の動向やニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施しました。当研究委員会では、各調査結果の検証や比較・分析結果を踏まえ、「できることからスピード感をもって取り組む」という考えのもと、関係機関と協議を重ねてきました。そして、当研究委員会メンバーでもある「魚沼基幹病院」「北里大学保健衛生専門学校」「国際大学」の3施設において、職員や学生などへの個店情報・イベント開催などの情報提供が可能となりました。

平成28年度に魚沼基幹病院スタッフを対象に実施したアンケート調査によると、多くの病院スタッフは、日常の買い物やサービス利用等において、「特に事前に得ず、直接店で得る」（41・2%）が4割以上で最も高くなっています。また、大和地域への居住意向について、「住みたくない・移りたい」（53・0%）が5割以上を占め、その理由として「買い物がかしい」（51・1%）が5割以上を占めています。

当研究委員会では、これらの結果を受けて、大和地域内での買い物・サービスに関する情報提供を行う具体的取組のひとつとして、商店や事業所の情報等をチラシなどで提供するためのラックや掲示板の設置を検討してきました。

そして、当研究委員会のメンバーでもある魚沼基幹病院・北里大学保健衛生専

門学院・国際大学の協力により、3施設へのチラシによる情報発信が可能となりました。

方法は、①大和商工会に電話連絡、②職員がチラシ内容について確認、③大和商工会にチラシ持参、④大和商工会職員が各施設に設置・配布となります。各施設へのチラシ設置・配布の頻度は月2回（月初・中旬）、設置・配布方法は施設によって異なり、①魚沼基幹病院は各部署ポストへの配布による職員回覧（チラシ60部）、②北里大学保健衛生専門学校は校内情報ラックによる配布（下写真）・校内掲示板の「大和商工会コーナー」への掲示、③国際大学は学生寮3か所・他2か所の計5か所の掲示板に掲示となります。詳細については大和商工会にお問い合わせください。（電話025・777・3500）

北里学院内の学生食堂入口に設置した情報ラック





# 研究委員会開催報告 (全3回)

## 01

2017/08/08

### 第1回研究委員会



#### ▼班編成の確認

第1班検討項目を「魚沼基幹病院開院後の新たなマーケティング」に一本化。第2班のCRC構想検討項目名称も変更。  
 ▼メディアカルラーについて  
 第3回ラーの実施概要等について魚沼基幹病院救急救命センター看護師の島田氏より説明後、意見交換。

#### ▼南魚沼版C R C構想の推進に関して

南魚沼市まちづくり推進機構の河合氏、南魚沼市U&Iとさめき課の立川委員より説明後、意見交換。

#### ▼買物等需要動向調査結果を踏まえた今後の方策について

NPOぐんまより説明を受けた後、研究委員会としての今後の取組方針について協議。

## 02

2017/12/12

### 第2回研究委員会



#### ▼グローバルITパークの現状と課題・今後の展望について

アダムイノベーションズ(株)島崎氏より説明後、意見交換。  
 ▼サテライトオフィスの平成30年度以降の展開について  
 立川委員(南魚沼市U&Iとさめき課長)より説明後、意見交換。

#### ▼地域活性化に向けて情報不足を補う取組について

①医療機関・介護事業所等を巻き込んだまちづくりの事例について、魚沼基幹病院の池田氏より報告後、意見交換。②事業所(個店)の逸品やイベント等の情報発信の方法と運用について、魚沼基幹病院、北里学院、国際大学の3施設との協議状況を中心に小幡事務局長より説明後、意見交換。

#### ①医療機関・介護事業所等を巻き込んだまちづくりの事例について

北里学院、国際大学の3施設との協議状況を中心に小幡事務局長より説明後、意見交換。

## 03

2018/03/16

### 第3回研究委員会



#### ▼地域活性化に向けて情報不足を補う取組について

①会員周知②事業所(個店)の逸品・イベント等の情報発信③活用ルールについて、魚沼基幹病院・北里大学保健衛生専門学校・国際大学の3施設への情報発信開始などの状況を中心に小幡事務局長より説明後、意見交換。

#### ▼これまでの取組成果及び課題と今後の取組について

これまでの取組の成果と課題についてNPOぐんまより報告後、今後の取組方針について協議。

#### ▼その他

魚沼基幹病院周辺の農用地区域変更(農振除外)の状況についての情報提供に基づき、今後の対応について協議。

#### チラシ等設置・配布の流れ

- 1 大和商工会に電話連絡  
「基幹病院に〇〇のチラシを配りたい」など
- 2 職員がチラシに不適切な内容が含まれていないか等を確認
- 3 大和商工会にチラシの必要部数を持参
- 4 月2回(月初・中旬)に大和商工会職員が各施設にチラシを設置・配布

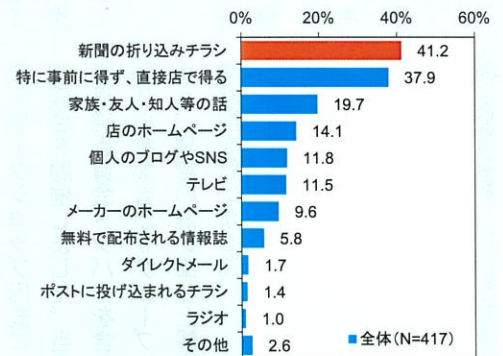
#### チラシ等設置・配布方法

魚沼基幹病院	各部署ポストへの配布による職員回覧(チラシを60部用意)
北里大学保健衛生専門学院	校内に情報ラックを設置 掲示板の一角に「大和商工会コーナー」設置
国際大学	学生寮3か所・他2か所の掲示板で掲示

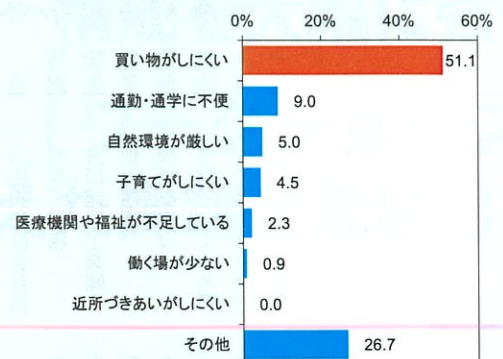
#### 【参考】魚沼基幹病院スタッフの買い物等に関する需要動向調査

- 調査概要 ●調査対象：魚沼基幹病院に従業する全職員  
 ●調査期間：平成28年11月1日～30日  
 ●回収数：417件(配布数550件・回収率75.8%)

Q：日常的な買い物やサービス等の情報を主に何から得ていますか  
 (2つまで選択 N=417人)



Q：大和地域に「住みたくない・大和地域外に移りたい」理由  
 (N=「住みたくない・大和地域外に移りたい」とした人221人)



※調査結果の一部を引用



# 研究委員会メンバーを強化／基幹病院・国際大学・北里学院との連携深化

## メディカルラリーに委員が参加・体験

「第3回 うおぬまメディカルラリー」が平成29年9月2日（土）に開催されました。メディカルラリーとは、救急医療従事者の能力向上や災害時対応・救急活動の技術向上を目的に実施されるもので、医師や看護師・救急救命士などで構成する医療チームが、決められた時間内にどれだけ迅速かつ正確に模擬傷病者の治療を行なうことができるかを競い合います。

今回は北里大学保健衛生専門学院と国際大学を主な会場として、前回は上回る18チームの応募の中から、埼玉県（2チーム）、山形県（2チーム）、福島県、栃木県、そして新潟県内（2チーム）の合わせて8チームが参加し、救急技能を競い合いました。ラリー開催に先立ち、8月8日の第1回研究委員会において魚沼基幹病院救急救命センター



▲メディカルラリーの様子

より、ラリーへの見学・参加協力依頼を受け、当日には多くの委員が見学・参加しました。主催者側は次回ラリーの開催に意欲を示しており、本研究委員会は、場所の提供、ボランティアスタッフとしての参加、PR協力など、次回開催時も引き続き協力していきます。

## 研究委員会メンバーを大幅に強化・充実

魚沼基幹病院開院後の新たなマーケットや南魚沼市が進めているCCRC\*構想への対応強化などを推進するため、当研究委員会は、大和商工会青年部及

び女性部から2名ずつ、計4名の委員を迎えました。同時に、事務局機能の強化を図るため、大和商工会職員1名を委員として加えました。

また、協議事項に応じて、魚沼基幹病院救急救命センター島田氏（第1回研究委員会）、同病院池田氏（第2回）、南魚沼市まちづくり推進機構（MMD）河合氏（第1・2回）、アダム・イノベーションズ島崎氏（第2回）などにオブザーバーとして情報提供をしていただきました。今後も当研究委員会メンバーのさらなる強化・充実を図るとともに、協議事項に応じてさまざまな機関や分野の専門家をオブザーバーとして招請していきたいと考えています。

### 新たな委員委嘱

▼橋口委員（魚沼基幹病院事務部長・立川委員（南魚沼市総務部U&Iときめき課・青木委員（大和商工会青年部）・井口委員（同）・秋山委員（大和商工会女性部）・種村委員（同）・岩田委員（大和商工会事務局）

### 委員交代

▼市橋委員（魚沼基幹病院総務課）／人事異動により平成29年度から橋口委員に交代  
▼腰越委員（南魚沼市地方創生推進室長）／人事異動により平成29年度から立川委員に交代

## 運動回調査結果を踏まえたワークショップに委員が参加

大和商工会は、昨年度実施した買い物等の動向やニーズ等を把握するためのアンケート調査を受けて、商工会員・役員を対象にワークショップ形式による懇談会を開催しました。当日は当研究委員会メンバーを含む約30名の参加者が3グループに分かれ、課題の洗い出しと解決策の検討を行いました。



▲ワークショップの様子

\*CCRC：Continuing Care Retirement Communityの略。健康な高齢者が入居し、介護が必要になっても移転することなく同じ敷地で、人生の最期までを豊かに暮らすための生活共同体のこと。

# 私達の研究委員会

門山 好和	(有)門山電機店	委員長
笠原 貴浩	(有)大和不動産	
小島 哲也	(株)小玉屋	
島田 雅士	(株)島田組	
中島 仁志	(株)みやま	
山崎 輝雄	(株)ヤマシゲ食品	
青木 文治	(株)野崎フーズ	商工会会長
木津 誠	木津醸造所	商工会副会長
関 博行	(株)伊勢新石油	商工会副会長
佐藤 剛	市議会議員	
小澤 実	市議会議員	
立川 一成	南魚沼市総務部U&Iときめき課	
岩下 浩之	北越銀行大和支店長	
伊藤 晴祥	国際大学国際経営研究科准教授	
樋口 昌敏	北里大学保健衛生専門学院事務長	
橋口 猛志	魚沼基幹病院事務部長	
高野 正	大和観光協会会長	
青木 輝満	(株)昇工務店	商工会青年部
井口 剛史	井口建設工業(株)	商工会青年部
秋山 豊子	秋山建築	商工会女性部
種村 佐智子	(株)種村建設	商工会女性部
熊倉 浩靖	群馬県立女子大学教授	オブザーバー
小幡 久斗	大和商工会事務局	事務局
岩田 一樹	大和商工会事務局	事務局
NPOぐんま		コンサルト

発行 大和商工会  
メディカルタウン研究委員会  
電話 025・777・3500  
FAX 025・777・4165  
2018年4月発行